

青玉 大いなるあさぎ色なり、中玉小玉は種々の色有、

タンツウ 織たる毛氈にして、模様種々のかはりあり、多く古ものにて渡る、

煙筒 白銅細工にて彫物あり、硝子を入たる細工にて、日本にて七寶細工也といふ、銘を切りたるもあり、

此外蝦夷産物に イケマ エブリコ 帆立貝等多し、諸書に載たれば爰に略す、又渡りものには、草金銀錢藥種羅紗猩々緋の類も出るといへども、不定の渡りものゆへ焉に略す、海邊磯邊寄物には、大竹の類網の浮木船具等も、時々には珍器もあれども、諸書に載たるものは爰に略す、

〔類聚三代格 十二〕太政官符

禁斷私交、易狄土物事

右被右大臣宣稱渡島狄等來朝之日、所貢方物例以雜皮、而王臣諸家競買好皮、所殘惡物以擬進官、仍先下符禁制已久、而出羽國司寬從曾不遵奉、爲吏之道豈合如此、自今以後嚴加禁斷、如違此制、必處重科事緣、勅語不得重犯、

延曆廿一年六月廿六日

〔官中秘策 四〕蝦夷松前

一人數貳万千八百七人 内 壹万貳千四百六拾六人 女男

領主

大名壹人

一 蝦夷松前一圓領主

松前志摩守

江戸へ海陸貳百九拾里餘

〔吹塵録 五 弘化三丙午年 諸國人數調略 〇 中 御領私料 人口及國高〕

一人數七万八百八拾七人